



DOKKYO SAITAMA HIGH SCHOOL

獨協埼玉高等学校

No. 16

2014. 8.10

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

同窓会会報

35周年を機に思いを新たに



校長 柳町 道廣

去る6月28日、第17回同窓会総会・懇親会が例年通り開催されました。今年はいくくの悪天候もあつて例年に比べると若干参加者が少なめでありましたが、**〓**も駆けつけてくださり、大いに盛り上がった懇親会となりました。

今年は本校も開校35年目を迎える節目の年に当たり、同窓生の年齢構成も50歳の大台に達した者から卒業したての若者まで実に幅広くになりました。同窓会が開かれる度にその顔を拝見しての実感としても歴史の長さを思わざるを得ません。と同時に迎える教職員の新旧交替も加速度的に進み、昨年度も新たに4名の先生方が本校を退職されたことを報告しなければなりません。体育科の**〓** 英語科の**〓** 芸術家の**〓** 先生も大学院でのさらなる勉学のために退職なさいます。いずれも本校の教育を支えてくださった貴重な人材であり、残念でなりません。これまでのご貢献に感謝申し上げるとともに、今後の先生方の新たなご活躍とご健康を祈念いたします。

これでどうとう私が最高齢になってしまいました。しかし、入れ替わるように本校の教育理念に賛同する優秀で頼もしい若手教員が続々と加わってくれています。だから同窓生の皆さんもどうぞご安心ください。

35周年を迎えた本校は、前回予告しましたトイレの完全改修や食堂のリニューアルも無事に終了しました。また、教育の本道を守り続けるためのソフト面での改革も着実に推し進めながら、皆さんにとつていつまでも誇りに思える獨協埼玉をこれからも堅持し続けることをお約束します。

「縦のつながり」



同窓会会長 玉山 栄一

会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のことと思います。

同窓会員の数も、今年度11,467人まで増え、上は50歳、下は18歳と、以前に比べ年代も幅広くなってきました。そこで、今年のテーマは「縦のつながり」としたいと思います。

皆様のご協力のおかげで、「ホームカミングデー」40歳になったら学校へ行く「1」や20歳を祝する「まほろばの会」では各学年の「横のつながり」を強固なものにすることができています。でも、せっかく幅広い年代の同窓生が集まる会なので、「縦」の交流も深めていければと思います。今後は年代を超えた、いろいろな企画を立てていきたいと思っています。それにはやはり、皆様のご協力が不可欠です。同窓会をより大きく育てていただければ幸いです。

さて、先ほども述べましたが、1期生は50歳になります。もうすでに人生の3分の2は過ぎようとしておりますが（笑）、よく「引退したら〇〇したい」などと言いますが、何も老後まで待つ理由などどこにもありません。引退などしていない今でも、自分が本来すべきことをやらずに時間が過ぎていくことが多々あります。その多くはそのあと「やっておけばよかった」と後悔するものです。そうならないようにするためにはやはり行動あるのみだと。これはあらゆる世代に当てはまることかもしれません。まずは、皆さん自分の想いを行動に移してみませんか。もちろん同窓会もより一層、アグレッシブに活動していく所存です。改めまして、今後とも同窓会活動にご理解ご協力をお願い致します。

会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、32期11,467名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。同窓会の事業運営費として、1期・17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となつております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については会報の発送を段階的に停止させていただきますことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願いする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

獨協埼玉高等学校同窓会

玉山 栄一

※1期・10期までは、今年度より発送を停止させていただきます。

一、はじめに

同窓生の皆様方、御元気で。活躍のことと存じます。この度、私も同窓生と同じように獨協埼玉を無事巣立つことができました。つきましては、皆様と共有した学校生活を少し振り返ってみたいと思います。

二、出会い

院修了後、公立中学校の非常勤、目白の獨協高校での勤務を経て、翌年開校の獨協埼玉を紹介していただき、1年目は非常勤、2年目から本採用になりました。仕事で知り合った方々との細い糸をたぐりながら獨協埼玉にたどり着き、33年間勤められたことに感謝しております。

三、いろいろなこと

獨協埼玉が、男子校から共学校へ、そして中学併設と移行する中で、様々なことを経験させていただきました。クラス経営の難しさはいつものことですが、学校祭で「宝塚」を好演し、その勢いで体育祭の学年優勝までしてくれたクラスもありました。リレーでこぼび、グラウンドの隅で、悔し涙を流している男子生徒を女子生徒が取り囲み、声をかけている姿は青春そのものでした。私の獨協最後の授業はダンスで、中学2年生と「恋するフォーチュンクッキー」を楽しく踊ることができました。後日、そのときの録画を観て、芸能人にはなれそうもない自分を再確認しました。

高校体育祭は、一学期実施、二学期実施そして現在の学期実施へと変わりました。昔の種目の思い出では、クラスの「仮装行列」の中身が

年毎に濃くなっていたことや、「スピードファッション」での先生方のなりきりが見事でした。「紅屋の娘」では、ベア板が地面とすりあつて発するザーザーという音と、その上に乗って必死にしがみつく女性との姿が耳と目にしつかり残っています。

中学体育祭では、生徒達の笑顔が見えてくる種目作り、プログラム作りに、何年ものかかりました。「体が動けば心も揺れる。汗が流れてハートはピュアに」という言葉を、そうと台帳に載せました。

部活では盆栽（凡才）いじりで、なかなか良い花を咲かすことができませんでしたが、勝つてうれしく、負けて悔しいチーム作りをめざし、取り組む姿勢に厳しさを求め、「ああ、そうか」と何かを発見し、理解し創りだしていくことができるための練習を考え、総体としての楽しさを求めました。基本練習は、たくさんさんの経験の中で、有効なものとして精選された練習ですが、先を見通し、段階に応じて適切な基本練習を組み立てていくことのできる指導者が良い指導者ではないでしょうか。

四、これから

今、世界中のあちこちで紛争がおきています。一方、日本の文化や技術、社会の仕組み、暮らし、自然への接し方などが、クールジャパンとして賞賛され、世界に多くの影響を与えています。こう考えると、世界の平和に貢献できる一番近い所にいるのが日本であり、日本の文化や日本のあり方ではないでしょうか。自分を大切に、自分の周囲を大切に、地域や国を大切に、他の国を大切に、世界に貢献できる若者を育ててくれることを獨協の教育に期待します。ありがとうございました。



（左から）

（英語科）

退職後、今年の4月から沖繩の大学で沖繩の歴史を勉強しています。

先日の台風8号はかなり強烈でした。戸外に置いていた私のサンダルが翌朝、何処かに吹き飛ばされて、影も形もなかったのです。

2013年度、沖繩を訪れた外国人観光客は63万人（前年比63%増）となり、今年度の4月～6月も過去最高を記録しました。

さて、沖繩経済の基幹となる3Kとは——基地・観光・公共事業——です。沖繩経済の特徴といえる基地経済に関しては、以前、「基地がなければ沖繩はやっていけないだろう」とまで言われていました。しかし、現在、沖繩経済が基地に依存する割合は僅かに5%に過ぎません。都市の中心部を占拠する基地は、むしろ、非生産的であるだけでなく、騒音公害、環境破壊、犯罪事件などの迷惑な存在です。1987年、米軍から返還された那覇新都心では次のような経済効果（返還前の基地従業員168名が返還後の雇用177、285名、雇用者所得7.5億円が51.8億円、軍関係所得45億円が84.9億円）が証明されました。

沖繩で今年最大のテーマは、11月に実施される辺野古新基地を争点とする知事選挙です。

沖繩が観光産業を重要な器官系材の1つとして位置づけて、基地交付金による補助金づけ体質から自立してゆくの、それとも、日米軍事政策の構造的差別の中で苦しみつけて、原発立地の場合と同様に、決め手は金目でしょうとうそぶく人達のセンスで、地域住民の心が切り裂かれ、自然環境（ジュゴンや世界最大の青サング群生）も失うのか否かの選択です。

青い海と白い砂の島、伝統芸能が生き続ける島のことを皆さんも一緒に考えて下さい。

（芸術科）

私は、12歳で東京の獨協中学に入学しました。ドイツ語の花文字の「D」の校章が気に入ったからです。現在の東京の獨協は、ガラス張りのモダンな校舎となり、昔の面影はありません。古めかしい校舎の柱に取り付けられた「D」の校章は、小学生だった私に強烈な印象を与えたことを記憶しています。当然私は、ドイツ語クラスに入り6年間ドイツ語を勉強しました。担任だったドイツ語の先生は大学教授となられ、素晴らしい授業だったことを覚えています。

ところで、獨協に関係して54年目に入りますが、「獨協精神」は私に染みついているようです。おかげさまで今でも吹奏楽部と関わりを持ち、若い生徒たちと接していますが獨協生の素晴らしい感動する毎日です。これも保護者の方々や多くの先生方のおかげですが、獨協に誇りを持ち、毎日努力していく所存です。今年も、インスブルック市、ザルツブルク市、ウィーン市、さらにはイタリアのボルツァーノ市から私の名前で招聘状を頂きましたが、中央ヨーロッパで「Dokkyo（ドッキョ）」の名前を更に高め、部員たちと練習中です。

こんな私を、長い間応援してくれた獨協埼玉には感謝の気持ちでいっぱいです。獨協は私にとって人生そのものでしたが、獨協からの大きな恩義を忘れずに、努力を続けたいと思います。ありがとうございました。

2014年7月31日

（英語科）

四年間お世話になった獨協埼玉を離れてから、早くも四ヶ月が過ぎようとしています。平日は毎日四時半に起き、休日午前中から部活動にと、毎日のように通っていた獨協埼玉に出向く

ことがなくなってしまう、何か欠けてしまったような寂しい気持ちになるのは、卒業生の皆様方も容易に想像できることでしょう。

さて、現在私は国内の大学院にて、「英語教授法（TESOL）」という分野を勉強しています。これは、英語を母語としない生徒に向けてどのように英語を教えるか、という学問分野で、言語習得や具体的な教え方、さらには教材開発の方法などを学んでいます。一緒に学んでいる学友は、大学卒業すぐに入學した若手からアラ還世代のベテランの方まで様々です。朝から晩まで、というのは少々大げさではありますが、すべての授業が英語で行われているので、国内にいながら留学しているような環境で学んでいます。

お世話になった獨協埼玉に我儘を言つて「学び直し」をしなから、思うことがあります。つば、本当の「学び」は「経験」のあとに来るのではない、ということ。英語の教え方をつとて考えても、それを机上で学ぶことは可能ですが、その有効性や導入の難しさは、現場での経験がなくてはあまり感じることができません。また、自ら望んだ「学び」の先にはまた「実践」があるということも、日々痛感することです。現在学んでいることを、現場でこう使ってみてはどうだろうか、と想像するのとは違い、学びの深さがまるで違うように思います。

これまで、幸運なことに義務教育から高校、大学、そして教職に就くという真っ直ぐな道を進んで参りました。そんな私が、身勝手な言い分で充実した「寄り道」をできているのも、獨協埼玉でお世話になった経験があるからこそ、大変感謝しております。この「寄り道」の先に、また次の新しい道が延びていくことを楽しみにしながら、頑張っていきたいと思えます。

新しい風

新任教員コメント

今年度から母校である獨協埼玉で勤めることとなりました。英語科の芳賀です。在学中は、熱心な先生方や、広々とした獨協埼玉の環境から、さまざまなことを学ばせていただきました。コース制のない環境でじっくりと将来について考え、充実した施設でとんと部活動にも取り組ませていただきました。今後は教員として、恩師から教わった情熱を胸に、ひたむきに生徒の教育に取り組んでいきたいと思えます。

新任教員代表



保健体育科



英語科



芸術科



英語科



英語科

35周年リニューアル獨協埼玉!

獨協埼玉高等学校は創立35周年を迎え、その記念事業としてPTAの多大な支援をいただき、食堂やトイレなどの校内施設設備の大幅改修を行いました。また、改修以外にも古き良き獨協埼玉の良さは残しながらも、現役生のために、新しく設けられた施設もあります。今回は35周年を迎え、新しくなった獨協埼玉をいくつか紹介します。

食堂

食堂はこれまで何度か、テーブルやイスの交換・補充を部分的に行ってききましたが、それでもかなり傷んでいるものがあり、全体的に統一感もなかったため、すべて新しくすることとしました。同時に、不安定になっていた床を補修し、壁も塗り替えました。大幅改修の結果、見違えるようにきれいな食堂になりました。



リニューアル後の食堂

トイレ

これまで和式のトイレだったものを洋式のウォッシュレットに変更し、床なども一新しました。3年間にわたって1階ずつ改修を進め、高校棟はすべて新しくきれいなトイレに変わりました。また、この完成に合わせて中学棟のトイレもすべてウォッシュレット化しました。これで少なくともトイレに関しては、埼玉県中で最も新しい設備の学校となりました。

ビオトープ

本校のビオトープは、校門を入って中学棟へのアクセス横の約40メートル続く樹林帯にあります。そこは、コナラ、クスギ、トチなどの大木に覆われた恰好の自然環境に恵まれており、地下水を汲み上げて南北二つの水源を設け、その長さを利用して、上流から下流まで、それぞれの水域に見合った棲息環境を作り出しています。この水流は本校のサイエンス



グリーンを基調としています

クラブの生徒たちが手作業で固い地面を掘り進めて、原型を作ったものです。その後、PTAの皆さんからのご寄付も寄せられて、少しずつ形も整ってきました。周囲の自然環境に合わせて植えた植物も少しずつ定着し、水辺が緑に覆われてきました。今後、カエルなどの水辺を必要とする生き物の定着を試みる予定です。



夏の夜にはカプトムシもきます



生徒の憩いの場となっています

サテネット

サテネットとは駿台予備校の衛星放送講座を個別のブースで受講できる施設です。3年生の引退まで部活動を続ける生徒が多い中、始業前や放課後、部活後の時間を有効利用し、受験の準備を進めるために平成22年に設置されました。また、受講料も通常の予備校に行くよりも安く利用することができ、その点も大きなメリットと言えます。



個別ブースで自習中

おわりに

校門そばの桜は大きく育ち、いまでも変わらずに獨協埼玉の生徒を見守ってくれています。大きく変化する獨協埼玉もありますが、いつまでも変わらない「獨協埼玉らしさ」も大切にしていこうと思います。皆様も暖かく獨協埼玉を見守っていただければ幸いです。



まほろばの会 30期

報告

第30期の「まほろばの会」は、2月22日に在学中にも仲間と集う食堂をお借りして、開催いたしました。

当日は、150名余の30期生が集まり、旧友や、恩師との再会を喜ぶとともに、第30期の仲の良さを感じることができた会となりました。

会場には、学年主任である〇〇〇〇が在学中の行事の写真を掲示してくださり、当時を思い出すことで会話

卒業して、たった2年しか経っていないにもかかわらず、ずいぶん大人びた、落ち着いた雰囲気でした。日々成長している皆さんの姿を拝見し頼もしく感じました。と同時に高校1年次の頃のヤンチャさや、内進生の中学時代の幼い言動を懐かしみ、話が弾みました。多くの卒業生の参加があり、またアメリカで修業中の卒業生

にも一段と花が咲いていたように感じられました。

30期生からは、お世話になった先生方に対して、今までのお礼の気持ちを込めて、先生に縁の深い生徒が選んだ、先生方の特徴に合った個性の溢れる品々を贈ることができ、先生方にも喜んでいただくことができました。

幹事として至らない部分が多く若輩者の私ですが、無事この「まほろばの会」を開催し成功することができたのは、〇〇〇〇

〇〇〇〇をはじめとする教職員の皆様、同窓会会長〇〇〇〇をはじめとする同窓会関係者の皆様、クラス幹事を引き受けていただいた皆様等、数多くの人達のご協力

によるものだと感じております。この度は、「まほろばの会」の開催にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

第30期まほろばの会

代表幹事 山科勇士

案内 31期生「まほろばの会」開催について

2015年2月21日(土)午後、懐かしの食堂に集合!

2013年3月に卒業した31期生みなさん、学年主任であった〇〇〇〇をはじめ、担任をしてくださった先生方と、20歳をお祝いしましょう! 多くの31期生が集うことを楽しみにしています。

代表幹事: 〇〇〇〇

学年主任

業生のライブ中継ありと楽しいひと時を過ごすことができました。今後健康にはくれぐれもご留意されご活躍されることを期待しております。幹事さん、お疲れ様でした。

教育実習を終えて

実習中の3週間、先生方が1つの授業のために膨大な準備時間を割いているのだということに日々実感しました。生徒たちが私の授業をどう思っているのかと不安もありましたが「楽しかった」「分かり易かった」などの声を聞き、本気で生徒に向かい合えばその思いが届くのだということも分かりました。

教師になりたいという思いがますます強くなった、充実した3週間でした。先生方生徒の皆さん、ありがとうございました。

私は教育実習で実際に教えることの難しさを学びました。1時間の授業の中で、どこを一番生徒に伝えたいか、そのことを伝えるのは授業はどのような構成にすれば良いかを毎時間考え実践する大変さを感じました。また、理科の実験で、生

徒の危険を最小限にするにはどのようにすれば良いか、その時の生徒への声のかけ方の工夫なども学ぶことができました。この教育実習での経験を活かし今後の人生を歩んでいけたらと思います。

私は、教育実習を通じて、1時間という時間の大きさを実感しました。1時間あれば様々なことが行えます。ですが、膨大な内容の中から、1時間で生徒に伝えたいことを伝えることは難しく、生徒を見ながら、伝え方を工夫し授業を行いました。この経験を通過し、限られた時間で伝えることの難

しさと、相手を見ることの大切さを学びました。この他にも実習で学んだことを活かし、今後も教師になるため励んでいきたいと思えます。

この3週間はとにかく持てるすべてを使ってぶつかった3週間でした。全力でぶつかったからこそ子供たちと信頼関係を結ぶことができたと思えます。ちょうど仲良くなったところで終わりが来てしまったので残念です。とても苦しかったけれど最終日にはまだまだ続けた気持ちはいっぱいでした。長いようであつたという間でしたが、ここの思い出はとても貴重な財産になりました。



INFORMATION

第35回 蛙鳴祭

9月20日^土・21日^日

10:00~15:00

今年は「蛙鳴 zing」です。かつて「蛙鳴祭 zing」というテーマがあったようですが、それよりもずっと響きが美しいと思います。昨年の蛙鳴祭後に全生徒から募集したテーマの中から、蛙鳴祭実行委員会の投票で決定しました。驚くほど素晴らしい学校祭になるよう頑張ります。

蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

第一体育館	9月20日 ^土	第一体育館	9月21日 ^日
10:20~11:15	高校演劇	10:20~11:00	獨協クラス
11:15~12:05	コーラス	11:00~12:00	高校演劇
12:05~12:25	修学旅行委員会	12:00~12:20	修学旅行委員会
12:25~12:55	ソングリーディング	12:20~13:10	コーラス
12:55~14:15	吹奏楽	13:10~13:40	ソングリーディング
14:15~15:00	獨協クラス	13:40~15:00	吹奏楽

入試ミニ説明会

中学

9月20日^土 11:00~12:00

高校

9月21日^日 11:00~12:00

中学入試

◆募集 男女 160 名

◆学校説明会

第1回 9月28日^日 10:00~

第2回 10月26日^日 10:00~

第3回 11月23日^日 10:00~

第4回 12月13日^土 10:00~

◆入試 第1回 1月11日^日

第2回 1月12日^月(祝)

第3回 1月18日^日

※本校と川口会場の2会場で実施(第1回)

高校入試

◆募集 男女 160 名

◆学校説明会

第1回 9月28日^日 13:30~

第2回 10月26日^日 13:30~

第3回 11月23日^日 13:30~

◆入試 第1回 1月22日^日

第2回 1月23日^金

※詳細は本校 HP でご確認ください。

入試



同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

同窓会からのお願い

①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

②住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。

③同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報に適切に保護し、会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供にこれらの情報を利用します。

※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出てください。

※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんのでご注意ください。

会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費(一万円)を納入していただき、納入票を同封させていただきます。同窓会の運営資金となり、ますますご理解の上、ご協力よろしくお願いします。

※既に振込済みの入会票の方は、振込用紙は封入されておりません。

獨協埼玉高校
同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031
事務局(koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

10期生ホームカミングデー報告

「40歳になったら学校へ行こう!」

10期生のホームカミングデーは、100名を超える卒業生が母校に集まりました。

日頃、仕事や家事に追われ、何かと忙しい年頃ですが、この日ばかりは一気に高校時代にタイムスリップ! 懐かしい話に花を咲かせ、あの頃と変わらない笑顔に包まれた、あつという間の2時間でした。二次会も大変盛り上がり、改めて素晴らしい仲間と出会えた高校生活であったと実感できました。

残念ながら今回は不参加となった方も、次回、同窓会を開催する際にはぜひご参加下さい。

今秋に開催する11期生も獨玉パワーで大いに盛り上がりして下さい!!

(10期生)



会計報告

(収入)
¥2,500 × 101人
= ¥252,500
計 ¥252,500

(支出)
食事代 ¥80,000
飲み物代 ¥44,740
通信費 ¥17,320
花束 ¥16,800
菓子折り ¥3,150
事務費 ¥8,007
計 ¥170,017

(残金)
¥82,483

※尚、残金は、30期生まほろばの会に寄付させていただきます。

S49. S50年生まれ

祝! 2nd成人式!

立派になった私たちに逢いに来て!

11期卒業生ホームカミングデーのお知らせ

獨玉11期卒業生の皆様、お元気ですか?

今年の秋に、私たち11期卒業生のホームカミングデーが開催されます。

ホームカミングデー「40歳になったら学校へ行こう」を合言葉に獨玉に集い、恩師・友人と旧交をあたためる素晴らしい日となるよう、皆様とともに感動と笑顔の再会実現をめざして、実行委員会メンバーが夜な夜な酒場集まり、企画・準備を進めています。皆様奮ってご参加ください!

日時 平成 26年 10月 11日(土)

- 一次会/受付14:00 開会14:30
獨協埼玉中学高等学校 中学棟小ホール
- 会費/2,000円 (御家族の方も含まれます)
- 二次会/18:00頃～
せんげん台駅周辺予定



実行委員

詳細はこちら!!

出席・欠席の連絡/開封の返信はがきにて8月末日までに返送ください。

11期生ホームカミングデー
ブログもご覧下さい!!
<http://dottama11.html.xdomain.jp>

